

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		図書等整備事業						予算事業名		図書等整備事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				10	05	05	2001	経常経費							
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文 4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・ ②地域教育体制の充実							事業の区分		主要事業				
											重点事業				
		3図書館サービスの充実							担当課係等		生涯学習課				
事業期間		継続 (年度～令和 3年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
結城市民及び図書館利用者の教養・知識が向上し、文化的に潤いのあ る生活ができるようになる。								本市には以前から図書館が設置されていたが、平成16年度にゆうき図 書館がオープンしたことにより、本格的に図書の整備が開始された。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
・図書・視聴覚・逐次刊行資料を収集し、整備する。 ・子育て・ビジネス・行政支援等、地域の諸活動を支援するべく、情 報収集・提供を行う。								・市民 ・図書資料							
								【事業をとりまく環境の変化】 現在の図書資料は、本だけでなくDVDやCDなどのAV資料など、 様々な媒体の資料が多岐に及んであり、そのような資料の収集・提供 の方法について、法的整備を含めて課題となる。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】							
・資料の収集・整備及び情報の提供				・資料の収集・整備及び情報の提供				・資料の収集・整備及び情報の提供							
■事業費															
				R01年度		R02年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	0	0								
歳入計(千円)				0		0									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)									
歳出計(千円)(A)				0		0									
伸び率(%)															
備 考	総合計画120ページ 予算書182ページ														
	平成29年度から、指定管理者制度の導入により、事業費はゆうき図書館管理運営事業へ移行														

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	新規に購入，収集した図書資料・視聴覚資料の数	点	目標	9,000.00	9,000.00	9,000.00
			実績	8,267.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	図書資料等の蔵書数	冊	目標	274,000.00	287,000.00	294,000.00
	所蔵している資料の数		実績	280,072.00	0.00	0.00
		人	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	図書資料を充実させることは，図書館の本質的な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	指定管理者である事業団が図書の整備を行うことは，基本協定書等に定められている。
	手段の妥当性	A 妥当である	事業団において，市民の要望等を反映させながら，図書の購入等を行っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	毎年，購入する図書を精査したうえで，必要な図書を購入している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	収集した図書資料は，広く市民に公開している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	貸し出し冊数は毎年増加している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	蔵書数も毎年増加し，図書資料の充実が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
コレクションの充実が図られてきているが，目標値を達成することはできなかった。今後は，資料購入費の増額を継続して要求していくとともに，寄贈資料の収集に一層努力していくことが必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
既存の利用者のみならず潜在利用者のニーズに対応できるよう，幅広くコレクション構築を行っていく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充）

☐ 改善改革しながら継続

☒ 現状のまま継続（改善・改革なし）

☐ 統合・新規事業への展開

☐ 縮小

☐ 休止

☐ 廃止・終了

☐ 予定どおりの要求

☐ 一部改善の上要求

☐ 今回は見送り

☐ その他の処置

方向性の具体的内容

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充）

☒ 改善改革しながら継続

☐ 現状のまま継続（改善・改革なし）

☐ 統合・新規事業への展開

☐ 縮小

☐ 休止

☐ 廃止・終了

☐ 予定どおりの要求

☐ 一部改善の上要求

☐ 今回は見送り

☐ その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。